

単元名 Unit 5 Universal Design

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 〈疑問詞＋to〉の文の形・意味・用法を理解し、物の使い方ややり方などといった情報を整理して伝えたり理解したりすることができる。
- (2) 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を伝え合うことができる。また、誰もが過ごしやすい社会の実現に向けた取組が書かれた文章を読み、その内容を理解するとともに、自分の考えの要点を述べることができる。
- (3) 誰もが使いやすいものについて考えるために、相手の考えや気持ちなどを読み取ったり、簡単な語句や文を用いて自分の確信や喜びの気持ちなどを伝えたりしようとする。

標準的な展開例

11250202_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 〈疑問詞＋to〉を用いた文の形・意味・用法について学習する。</p> <p>★もの・ことの使い方ややり方を伝え合おう。</p> <p>○ Previewを通して、分かったことを伝え合う。</p> <p>○ Scene1本文を読んで、概要を読み取る。</p> <p>○ 〈疑問詞＋to〉を用いた文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 〈疑問詞＋to〉を使って、ペアで会話をする。</p> <p>2 Scene2 〈主語＋動詞＋（人）＋疑問詞＋to〉を用いた文の形・意味・用法について学習する。</p> <p>★自分が教えることができることを伝え合おう。</p> <p>○ 新出語句の確認・練習を行う。</p> <p>○ Scene2本文を読んで、概要を読み取る。</p> <p>○ 〈主語＋動詞＋（人）＋疑問詞＋to〉を用いた文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 〈主語＋動詞＋（人）＋疑問詞＋to〉を使って、ペアで会話をする。</p> <p>3 Mini Activity さまざまな活動を通して、〈疑問詞＋to〉を用いた文についての理解を深める。</p> <p>★身近なもの・ことについて、使い方ややり方を伝え合おう。</p> <p>○ Listenに取り組む。</p> <p>○ Speak & Writeの課題に取り組む。</p> <p>4 Read and Think1(1) 〈主語＋be動詞＋形容詞＋that〉の文の形・意味・用法を学習する。</p> <p>★確信や喜びの気持ちを理解したり伝えたりしよう。</p> <p>○ 〈主語＋be動詞＋形容詞＋that〉を使った文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 練習問題に取り組む。</p> <p>○ ペアになり、自分がうれしいと感じたことについて伝え合う。</p> <p>5 Read and Think1(2) ユニバーサルデザインについての文章を読み取る。</p> <p>★身の回りのユニバーサルデザインを紹介しよう。</p> <p>○ 本文を読んで、分かったことを話し合う。</p> <p>○ 本文についての問いに答える。</p> <p>○ 本文を参考に身の回りのユニバーサルデザインについて発表する。</p> <p>6 Read and Think2 ある人物の功績について書かれた文</p>	<p>・ Previewを視聴し、分かったことをペアの生徒に伝えさせる。</p> <p>・ 本文の内容理解を通して、〈疑問詞＋to〉の用法についてつかませる。</p> <p>・ Practiceに取り組みせ、生徒の理解度を確認する。</p> <p>・ さまざまな物の写真を提示し、使い方ややり方を考えさせる。</p> <p>【評】 ペアでの会話活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。</p> <p>・ 本文の内容理解を通して、不定詞の用法についてつかませる。</p> <p>・ Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>・ 自分が人に教えることができることをペアで伝え合う。</p> <p>【評】 ペアでの会話活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 必要に応じてメモを取るよう指示する。</p> <p>・ 生徒の理解度に応じて、発話量を増やさせてもよい。</p> <p>【評】 Speak & Writeの活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 〈主語＋be動詞＋形容詞＋that〉の文を写真などととも複数提示し、ルールに気付かせる。</p> <p>・ Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>・ I'm happy thatで始まる文をいくつか考えさせる。</p> <p>【評】 〈主語＋be動詞＋形容詞＋that〉についての練習問題を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 分かったことをペアの生徒に伝えさせる。</p> <p>・ Round1とRound2を通して、本文の内容を詳しく理解させる。</p> <p>・ Round3に取り組みせる。</p> <p>・ ユニバーサルデザインの例をいくつか提示する。</p> <p>【評】 ユニバーサルデザインについて発表する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

<p>章から、ユニバーサルデザインについて考える。</p> <p>★ロナルド・メイスの功績について読み取り、自分の考えを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文を読んで、分かったことを話し合う。 ○本文についての問いに答える。 ○本文を通して学んだことをまとめる。 <p>7 Unit Activity 単元で学んだことを活用する。</p> <p>★自分がしてみたいことや興味があることについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○してみたいことや興味があることを考える。 ○してみたいことの実現の方法について相談する。 ○相談して分かったことをグループで発表する。 <p>8 Let's Talk3 乗り物での道案内をする。</p> <p>★乗り物での行き方を尋ねたり、答えたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的の駅への行き方を考える。 ○モデル対話の練習をする。 ○現在地や行き方を変えて対話する。 <p>9 Let's Listen5 留守番電話を聞き取る。</p> <p>★留守番電話を聞き、内容を理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メッセージを聞き取る。 ○電話での対話を聞き取る。 ○見たい映画やその他にしたいことを伝え合う。 <p>10 単元のまとめ 単元テストに取り組む。</p> <p>★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元テストに取り組む。 ○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことをペアの生徒に伝えさせる。 ・Round1とRound2を通して、本文の内容を詳しく理解・整理させる。 ・Round3に取り組ませる。 ・ユニバーサルデザインの活用事例などを提示したり、生徒に調べさせたりしてもよい。 <p>【評】本文から学んだことをまとめる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEP1に取り組ませる。 ・STEP2に取り組ませる。 ・STEP3に取り組ませる。 ・タブレットを使って、調べ学習を行ってもよい。 <p>【評】自分が興味のあることについて発表する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEP1に取り組ませる。 ・シンガポールの写真を提示してもよい。 ・STEP2に取り組ませる。 ・Could you tell me how to get toの使い方を確認する。 ・STEP3に取り組ませる。 ・モデル文の構成に沿って会話させる。 <p>【評】乗り物での道案内をする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEP1に取り組ませる。 ・複数回聞かせ、放送内容の理解を促す。 ・STEP2に取り組ませる。 ・複数回聞かせ、大切だと思える情報はメモを取らせる。 ・STEP3に取り組ませる。 <p>【評】留守番電話について聞き取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、〈疑問詞+to〉や感情の理由を表すthatの用法についての「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、〈疑問詞+to〉や感情の理由を表すthatを活用させ、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
--	--

【 備 考 】
授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。